

平成28年度 臨床指標

国立病院機構に準じた臨床指標

1. 高齢患者(75歳以上)におけるⅡ度以上の褥瘡の院内発生率
2. 手術ありの患者に対する肺血栓塞栓症の予防対策の実施率(リスクレベルが中リスク以上)
3. 手術ありの患者における肺血栓塞栓症の発生率(リスクレベルが中リスク以上)
4. 術後の大腿骨頸部/転子部骨折の発生率
5. 退院患者の標準化死亡比
6. 急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率
7. 急性脳梗塞患者に対する入院2日以内の頭部CT撮影もしくはMRI撮影の施行率
8. 急性脳梗塞患者における入院死亡率
9. 急性心筋梗塞患者に対する退院時のアスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率
10. PCI(経皮的冠動脈インターベンション)を施行した患者(救急車搬送)の入院死亡率
11. 乳癌(ステージⅠ)の患者に対する乳房温存手術の施行率
12. 人工関節置換術/人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の術後3日以内の中止率
13. 人工関節置換術/人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の術後7日以内の中止率
14. 人工膝関節全置換術患者の早期リハビリテーション開始率
15. 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療(止血術)の施行率

赤十字独自の臨床指標

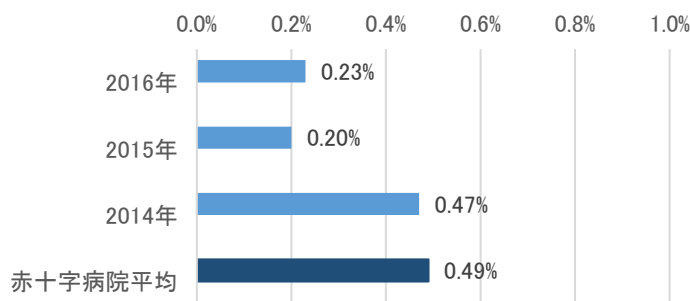
1. 治療を必要とする転倒転落発生率
2. Ⅱ度以上の新規褥瘡院内発生率

診療部門別臨床指標

1. 子宮頸部上皮内がん及び高度異形成への円錐切除率
2. 良性卵巣腫瘍への腹腔鏡実施率(予定手術)
3. 子宮外妊娠と良性卵巣腫瘍茎捻転の緊急手術に対する腹腔鏡手術の実施率
4. 子宮全摘術抗生剤1日以内中止率
5. ステージⅠ乳がんに対する乳房温存術式施行率(75歳以下)
6. ステージⅠ乳癌に対するセンチネルリンパ節生検施行率(75歳以下)
7. 乳がん抗生剤術後中止率(75歳以下)
8. 腹腔鏡手術死亡率
9. 腹腔鏡手術後輸血施行率
10. 腹腔鏡手術後創部合併症発生率(手術創離解)
11. 腹腔鏡手術後感染症発生率
12. 心外主要手術(弁膜症+CABG)死亡率
13. 心外主要開心術(弁膜症+CABG)脳梗塞発生率
14. 腹部大動脈瘤+ステント死亡率
15. 腹部大動脈瘤+ステント脳梗塞発生率
16. 急性心筋梗塞で入院した患者の入院当日のPCI実施率【新設】
17. 心不全で入院中のACE或いはARBの処方率【新設】
18. 待機的にPCIを実施した患者の入院中脳梗塞発生率【新設】

1. 高齢患者(75歳以上におけるⅡ度以上の褥瘡の院内発生率)

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、院内新規発生の褥瘡を有する患者数}}{\text{入院時に褥瘡および褥瘡発生リスクが認められた高齢患者(75歳以上)の在院患者延べ数}}$$

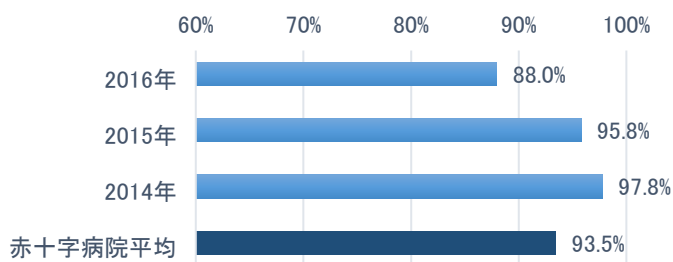


	発生率	分子	分母
2016年	0.23%	57	24634
2015年	0.20%	45	22385
2014年	0.47%	116	24494
赤十字病院平均	0.49%		

※赤十字病院平均は2016年の値

2. 手術ありの患者に対する肺血栓塞栓症の予防対策の実施率(リスクレベルが中リスク以上)

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策をおこなった患者数}}{\text{肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数}}$$

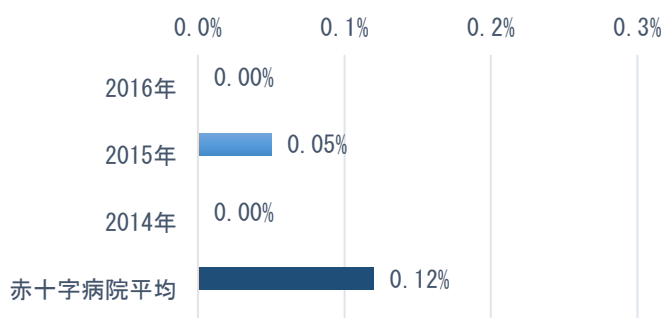


	実施率	分子	分母
2016年	88.0%	1991	2263
2015年	95.8%	2073	2164
2014年	97.8%	1839	1881
赤十字病院平均	93.5%		

※赤十字病院平均は2016年の値

3. 手術ありの患者における肺血栓塞栓症の発生率(リスクレベルが中リスク以上)

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、肺血栓塞栓症を発症した患者数}}{\text{肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数}}$$

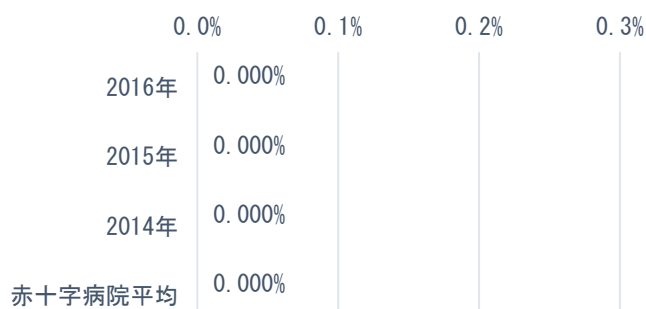


	発生率	分子	分母
2016年	0.00%	0	2263
2015年	0.05%	1	2164
2014年	0.00%	0	1992
赤十字病院平均	0.12%		

※赤十字病院平均は2016年の値

4. 術後の大腿骨頸部／転子部骨折の発生率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、術後に大腿骨頸部／転子部骨折を発症した患者数}}{\text{手術を施行した患者の術後在院患者延べ数}}$$

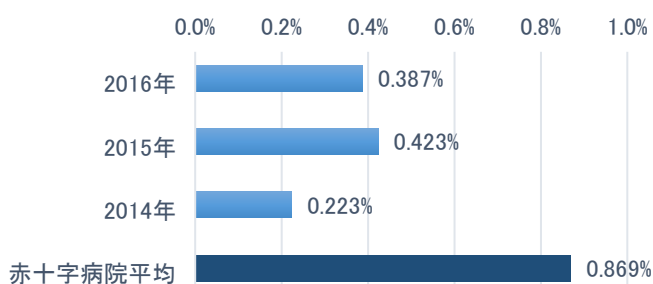


	発生率	分子	分母
2016年	0.00%	0	5646
2015年	0.00%	0	5897
2014年	0.00%	0	5607
赤十字病院平均	0.00%		

※赤十字病院平均は2016年の値

5. 退院患者の標準化死亡比

算出方法：
$$\frac{\text{観測死亡患者数}}{\text{予測死亡患者数}}$$

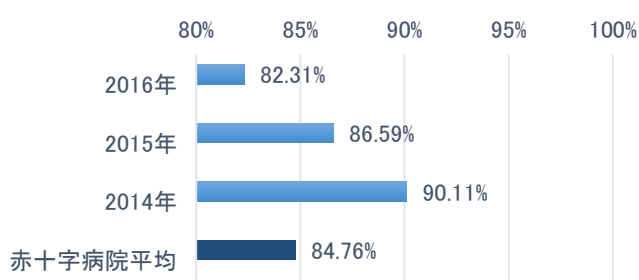


	標準死亡比	分子	分母
2016年	0.387%	378	974.5
2015年	0.423%	409	966.5
2014年	0.223%		
赤十字病院平均	0.869%		

※赤十字病院平均は2016年の値

6. 急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、入院してから4日以内にリハビリテーションが開始された患者数}}{\text{急性脳梗塞(発症時期が3日以内)の退院患者のうち、リハビリテーションが施行された退院患者数}}$$

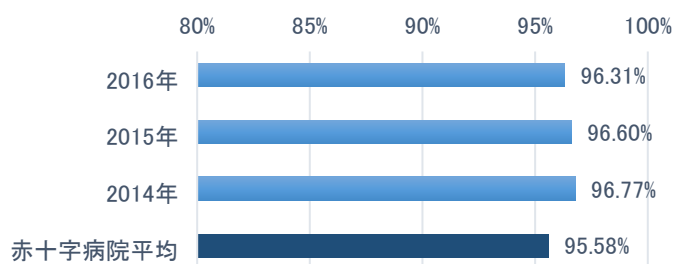


	開始率	分子	分母
2016年	82.31%	121	147
2015年	86.59%	142	164
2014年	90.11%	164	182
赤十字病院平均	84.76%		

※赤十字病院平均は2016年の値

7. 急性脳梗塞患者に対する入院2日以内の頭部 CT 撮影もしくは MRI 撮影の施行率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、入院当日・翌日に「CT 撮影」あるいは「MRI 撮影」が実施された患者数}}{\text{急性脳梗塞（発症時期が3日以内）の退院患者数}}$$

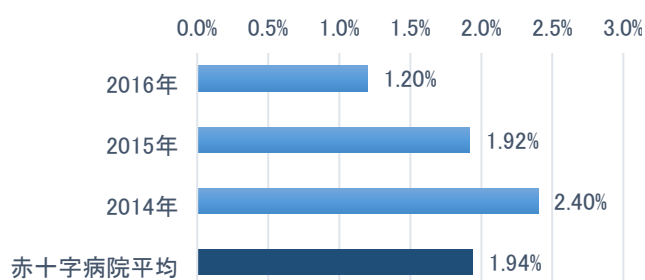


	開始率	分子	分母
2016年	96.31%	287	298
2015年	96.60%	256	265
2014年	96.77%	240	248
赤十字病院平均	95.58%		

※赤十字病院平均は2016年の値

8. 急性脳梗塞患者における入院死亡率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、退院時転帰が死亡の患者数}}{\text{急性脳梗塞（発症時期が3日以内）の退院患者数}}$$

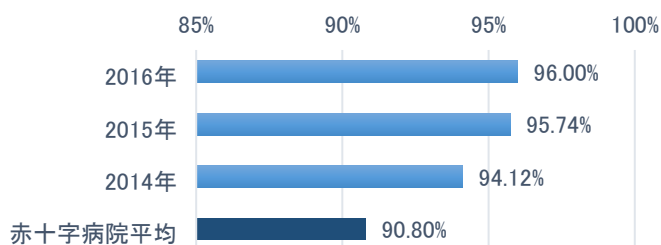


	死亡率	分子	分母
2016年	1.20%	1	83
2015年	1.92%	2	104
2014年	2.40%	3	125
赤十字病院平均	1.94%		

※赤十字病院平均は2016年の値

9. 急性心筋梗塞患者に対する退院時のアスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、退院時処方アスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数}}{\text{急性心筋梗塞あるいは再発性心筋梗塞の退院患者数}}$$

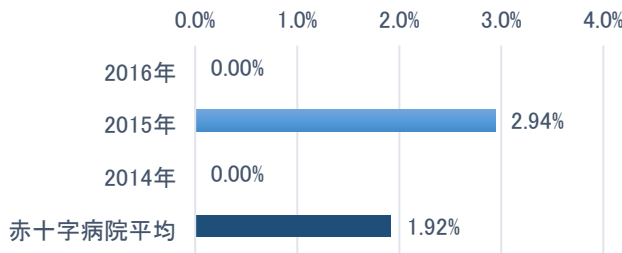


	処方率	分子	分母
2016年	96.00%	48	50
2015年	95.74%	45	47
2014年	94.12%	48	51
赤十字病院平均	90.80%		

※赤十字病院平均は2016年の値

10. PCI(経皮的冠動脈インターベンション)を施行した患者(救急車搬送)の入院死亡率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、退院時転帰が「死亡」の患者数}}{\text{救急車で搬送され PCI が施行された「不安定狭心症」や「急性心筋梗塞」の退院患者数}}$

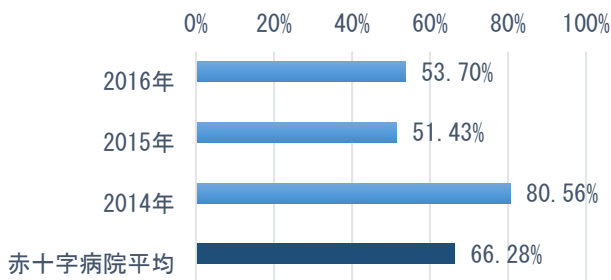


	死亡率	分子	分母
2016年	0.00%	0	27
2015年	2.94%	1	34
2014年	0.00%	0	29
赤十字病院平均	1.92%		

※赤十字病院平均は2016年の値

11. 乳癌(ステージ I)の患者に対する乳房温存手術の施行率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、乳房温存手術が施行された患者数}}{\text{乳癌(ステージ I)の退院患者数}}$



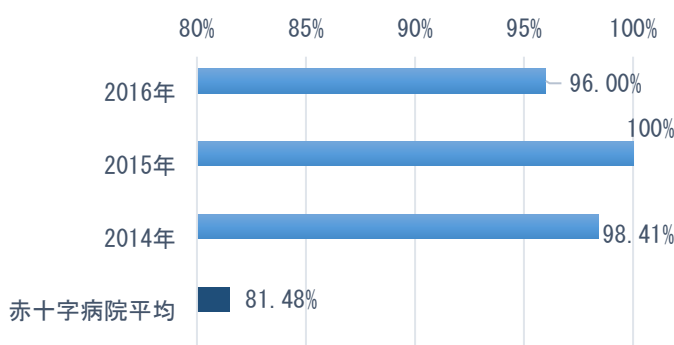
	温存率	分子	分母
2016年	53.70%	29	54
2015年	51.43%	18	35
2014年	80.56%	29	36
赤十字病院平均	66.28%		

※赤十字病院平均は2016年の値

2016年についてはステージ I 症例の分母のうち約 20 例(約 37%)が温存療法適応外であったため赤十字病院平均より低い温存率となっている。温存療法適応外を除くと約 85%の温存率となる。温存療法可能と見込まれる患者には全て温存療法について説明しているが、本人希望で乳房切除となった症例も多かったため温存率 100%とならなかった。温存適応のない患者、その他の理由で乳房切除となる患者には当院形成外科で乳房再建手術が可能であることを説明している。

12. 人工関節置換術／人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の術後3日以内の中止率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、術日以降に抗菌薬が予防的に投与され、手術当日から数えて3日以内に投与が中止された患者数}}{\text{人工関節置換術／人工骨頭挿入術が施行された退院患者数}}$$

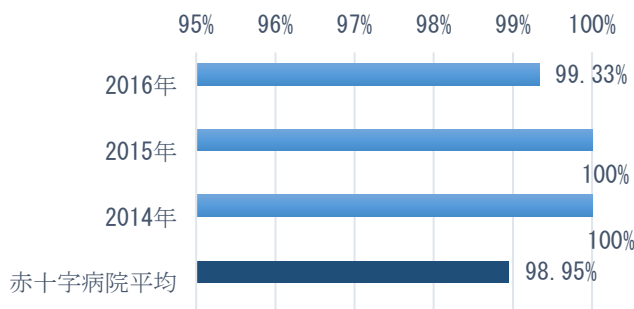


	中止率	分子	分母
2016年	96.00%	144	150
2015年	100%	133	133
2014年	98.41%	124	126
赤十字病院平均	81.48%		

※赤十字病院平均は2016年の値

13. 人工関節置換術／人工骨頭挿入術における手術部位感染予防のための抗菌薬の術後7日以内の中止率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、術日以降に抗菌薬が予防的に投与され、手術当日から数えて7日以内に投与が中止された患者数}}{\text{人工関節置換術／人工骨頭挿入術が施行された退院患者数}}$$

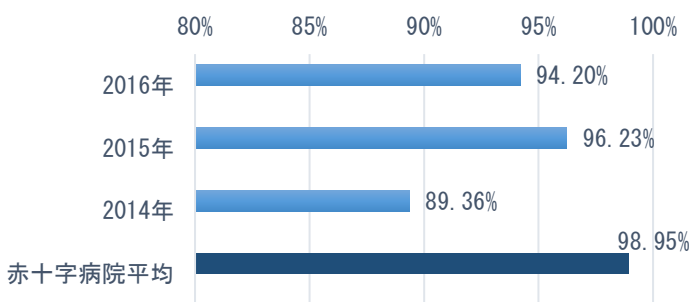


	中止率	分子	分母
2016年	99.33%	149	150
2015年	100%	133	133
2014年	100%	126	126
赤十字病院平均	98.95%		

※赤十字病院平均は2016年の値

14. 人工膝関節全置換術患者の早期リハビリテーション開始率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、4日以内にリハビリテーションが開始された患者数}}{\text{人工関節置換術が施行された退院患者数}}$$

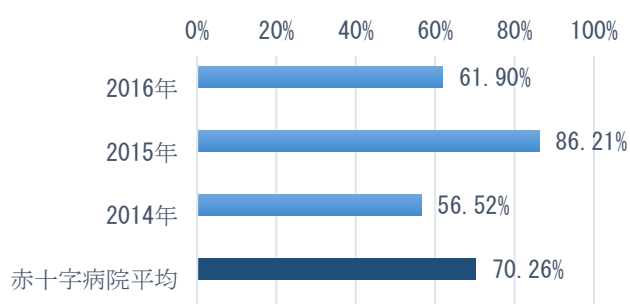


	開始率	分子	分母
2016年	94.20%	65	69
2015年	96.23%	51	53
2014年	89.36%	42	47
赤十字病院平均	98.95%		

※赤十字病院平均は2016年の値

15. 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療(止血術)の施行率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、内視鏡的治療(止血術)が施行された患者数}}{\text{出血性胃・十二指腸潰瘍の退院患者数}}$



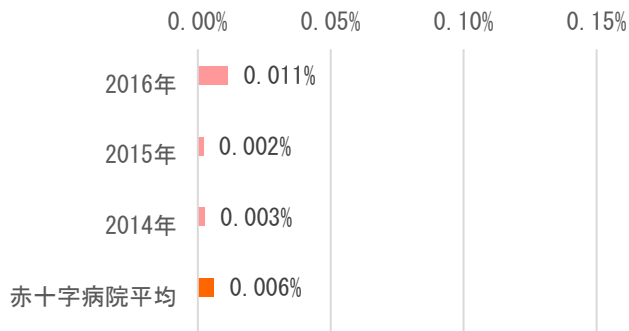
	施行率	分子	分母
2016年	61.90%	39	63
2015年	86.21%	25	29
2014年	56.52%	26	46
赤十字病院平均	70.26%		

※赤十字病院平均は2016年の値

赤十字独自の臨床指標

1. 治療を必要とする転倒転落発生率

算出方法:
$$\frac{\text{治療を必要とする転倒転落件数(レベル3b以上)}}{\text{入院患者延数}}$$

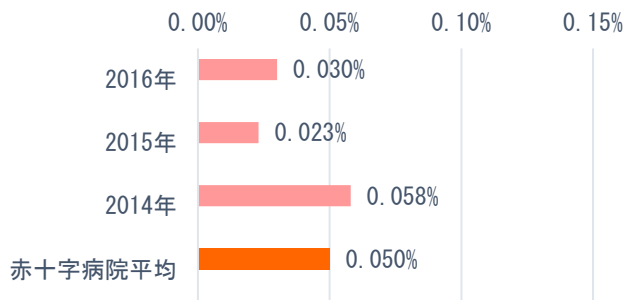


	発生率	分子	分母
2016年	0.011%	21	186927
2015年	0.002%	4	194238
2014年	0.003%	5	198665
赤十字病院平均	0.006%		

※赤十字病院平均は2016年の値

2. II度以上の新規褥瘡院内発生率

算出方法:
$$\frac{\text{新規褥瘡が発生した患者数}}{\text{入院患者延数}}$$



	発生率	分子	分母
2016年	0.030%	57	186927
2015年	0.023%	45	194238
2014年	0.058%	116	198665
赤十字病院平均	0.050%		

※赤十字病院平均は2016年の値

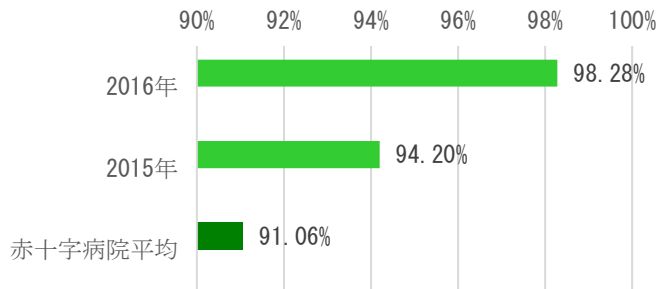
診療部門別臨床指標

1. 子宮頸部上皮内がん及び高度異形成への円錐切除率

分母のうち、円錐切除術を実施した患者数

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、円錐切除術を実施した患者数}}{\text{がん初発患者のうち、子宮頸部上皮内がん及び高度異形成に分類される患者数}}$$

(ただし、46歳以上の患者及びレーザー照射治療を受けた患者は除く)



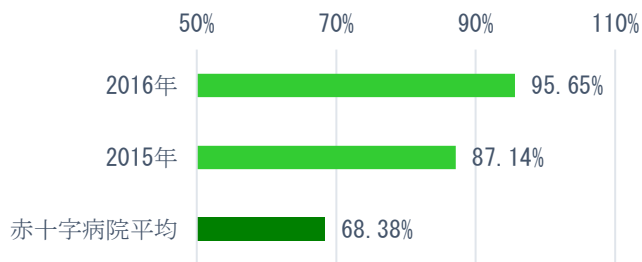
	切除率	分子	分母
2016年	98.28%	57	58
2015年	94.20%	65	69
赤十字病院平均	91.06%		

※赤十字病院平均は2016年の値

2. 良性卵巣腫瘍への腹腔鏡実施率(予定手術)

分母のうち、腹腔鏡手術を実施した患者数

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、腹腔鏡手術を実施した患者数}}{\text{予定手術ありの患者で、卵巣の良性新生物に分類される患者数}}$$



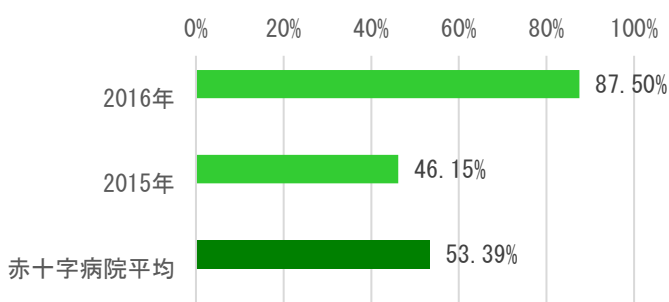
	実施率	分子	分母
2016年	95.65%	66	69
2015年	87.14%	61	70
赤十字病院平均	68.38%		

※赤十字病院平均は2016年の値

3. 子宮外妊娠と良性卵巣腫瘍茎捻転の緊急手術に対する腹腔鏡手術の実施率

分母のうち、腹腔鏡手術を実施した患者数

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、腹腔鏡手術を実施した患者数}}{\text{緊急入院患者で、卵巣の良性腫瘍、卵巣・卵巣茎及び卵管の捻転、卵管妊娠に分類される患者数}}$$

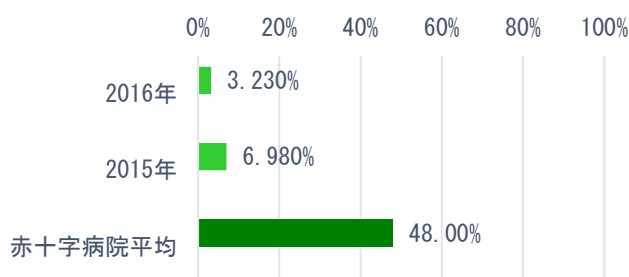


	実施率	分子	分母
2016年	87.50%	7	8
2015年	46.15%	6	13
赤十字病院平均	53.39%		

※赤十字病院平均は2016年の値

4. 子宮全摘術後 抗生剤1日以内中止率

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、術後抗生剤を1日以内に中止した患者数}}{\text{入院患者で子宮全摘術を施行した患者数}}$$

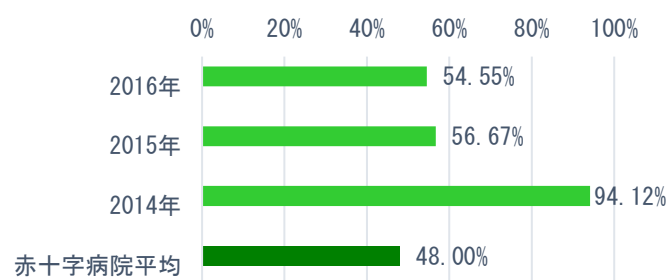


	中止率	分子	分母
2016年	3.230%	1	31
2015年	6.980%	3	43
赤十字病院平均	48.00%		

※赤十字病院平均は2016年の値

5. ステージ I 乳がんに対する乳房温存術式施行率(75歳以下)

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、乳房温存手術が施行された患者数}}{\text{乳癌(ステージ I)の75歳以下入院患者数}}$$

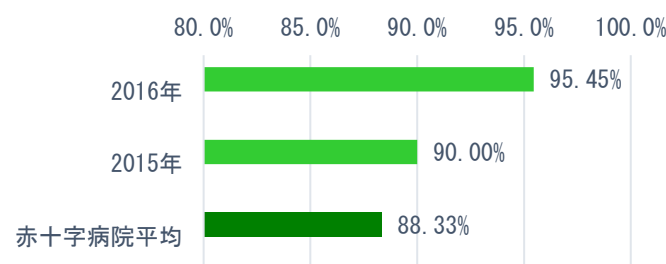


	施行率	分子	分母
2016年	54.55%	24	44
2015年	56.67%	17	30
2014年	94.12%	32	34
赤十字病院平均	48.00%		

※赤十字病院平均は2016年の値

6. ステージ I 乳がんに対するセンチネルリンパ節生検施行率(75歳以下)

算出方法：
$$\frac{\text{分母のうち、センチネルリンパ節生検が施行された患者数}}{\text{75歳以下で、乳癌(ステージ I)、手術ありの患者}}$$

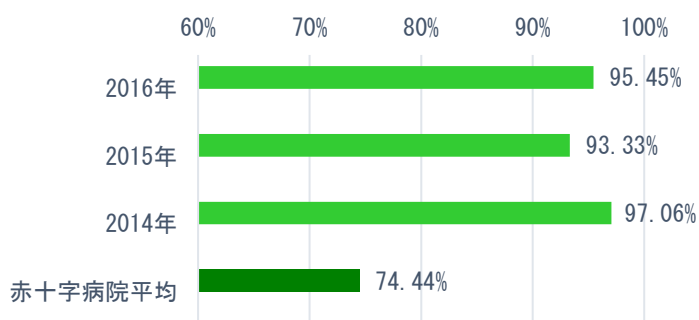


	中止率	分子	分母
2016年	95.45%	42	44
2015年	90.00%	27	30
赤十字病院平均	88.33%		

※赤十字病院平均は2016年の値

7. 乳がん抗生剤術後中止率(75歳以下)

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、抗生剤を当日で中止した患者数}}{\text{乳癌(ステージⅠ)で手術施行の75歳以下の患者数}}$

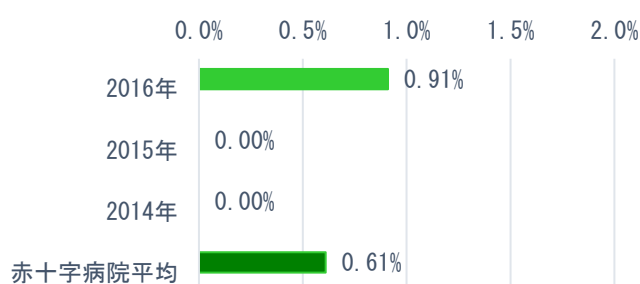


	中止率	分子	分母
2016年	95.45%	42	44
2015年	93.33%	28	30
2014年	97.06%	33	34
赤十字病院平均	74.44%		

※赤十字病院平均は2016年の値

8. 腹腔鏡手術死亡率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、退院時転帰が死亡の患者数}}{\text{腹腔鏡下手術を施行した患者数}}$

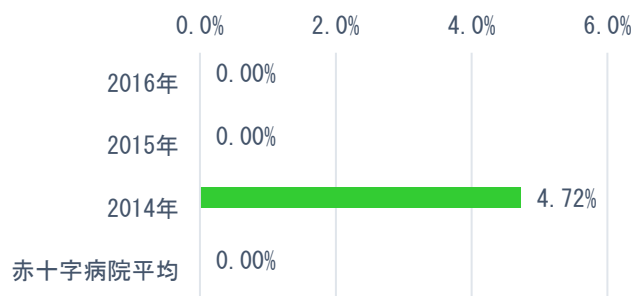


	死亡率	分子	分母
2016年	0.91%	1	110
2015年	0.00%	0	129
2014年	0.00%	0	106
赤十字病院平均	0.61%		

※赤十字病院平均は2016年の値

9. 腹腔鏡手術後輸血実施率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、入院中に輸血をした患者数}}{\text{腹腔鏡下手術を施行した患者数}}$

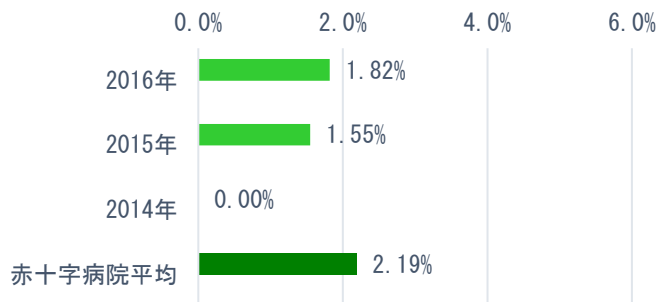


	実施率	分子	分母
2016年	0.00%	0	110
2015年	0.00%	0	129
2014年	4.72%	5	106
赤十字病院平均	0.00%		

※赤十字病院平均は2016年の値

10. 腹腔鏡手術後創部合併症発生率(手術創離解)

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、手術創の離解あり患者数}}{\text{腹腔鏡下手術を施行した患者数}}$

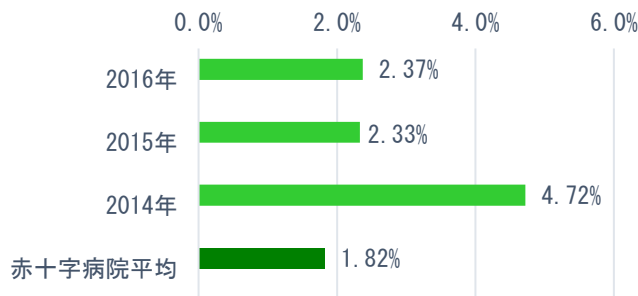


	発生率	分子	分母
2016年	1.82%	2	110
2015年	1.55%	2	129
2014年	0.00%	0	106
赤十字病院平均	2.19%		

※赤十字病院平均は2016年の値

11. 腹腔鏡手術後感染症発生率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、手術創に感染症発生あり患者数}}{\text{腹腔鏡下手術を施行した患者数}}$

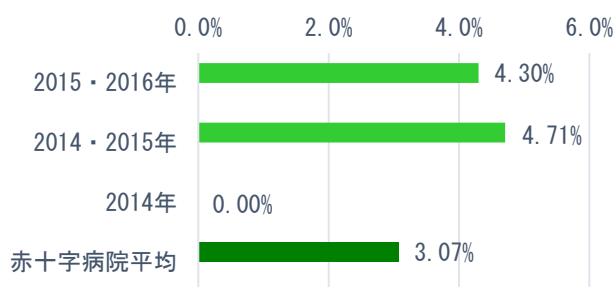


	発生率	分子	分母
2016年	2.37%	3	110
2015年	2.33%	3	129
2014年	4.72%	5	106
赤十字病院平均	1.82%		

※赤十字病院平均は2016年の値

12. 心臓血管外科主要手術(弁膜症+CABG)死亡率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、退院時転帰が死亡の患者数}}{\text{予定入院患者で、主要な手術(弁膜症+CABG)を実施した患者数}}$

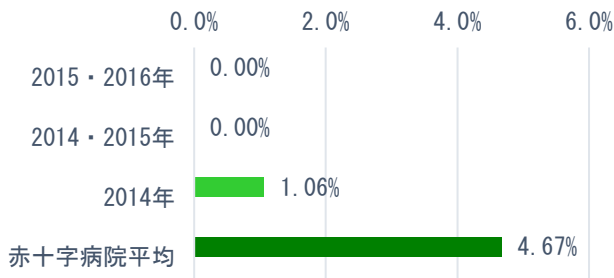


	死亡率	分子	分母
2015・2016年	4.30%	4	93
2014・2015年	4.71%	4	85
2014年	0.00%	0	94
赤十字病院平均	3.07%		

※赤十字病院平均は2015.2016年の値

13. 心臓血管外科主要手術(弁膜症+CABG)脳梗塞発生率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、脳梗塞を発症した患者数}}{\text{予定入院患者で、主要な手術(弁膜症+CABG)を実施した患者数}}$

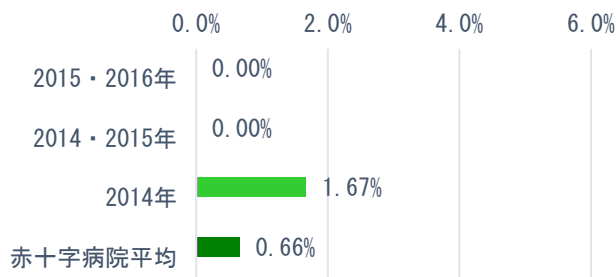


	発生率	分子	分母
2015・2016年	0.00%	0	93
2014・2015年	0.00%	0	85
2014年	1.06%	1	94
赤十字病院平均	4.67%		

※赤十字病院平均は 2015.2016 年の値

14. 腹部大動脈瘤+ステント 死亡率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、退院時転帰が死亡の患者数}}{\text{予定入院患者で、腹部大動脈瘤に対して開腹手術あるいはステントグラフト手術を施行した患者数}}$

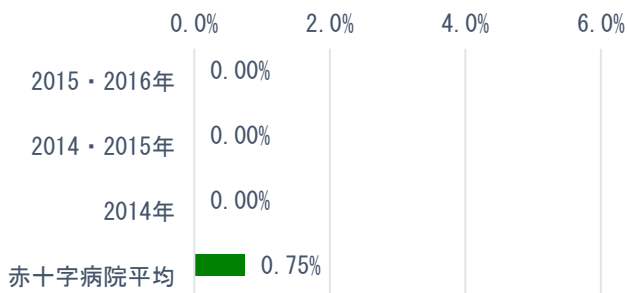


	死亡率	分子	分母
2015・2016年	0.00%	0	62
2014・2015年	0.00%	0	64
2014年	1.67%	1	60
赤十字病院平均	0.66%		

※赤十字病院平均は 2015.2016 年の値

15. 腹部大動脈瘤+ステント 脳梗塞発生率

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、脳梗塞を発症した患者数}}{\text{予定入院患者で、腹部大動脈瘤に対して開腹手術あるいはステントグラフト手術を施行した患者数}}$

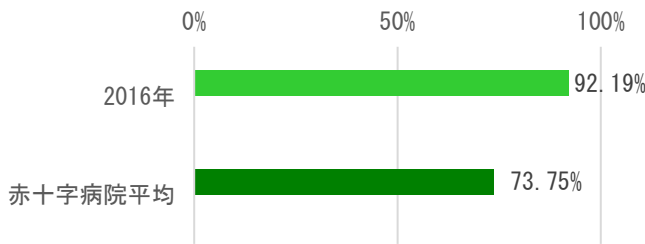


	発生率	分子	分母
2015・2016年	0.00%	0	62
2014・2015年	0.00%	0	64
2014年	0.00%	0	60
赤十字病院平均	0.75%		

※赤十字病院平均は 2015.2016 年の値

16. 急性心筋梗塞で入院した患者の入院当日の PCI 実施率 【新設】

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、入院日当日に PCI を実施した患者数}}{\text{急性心筋梗塞あるいは再発性心筋梗塞の入院患者数}}$

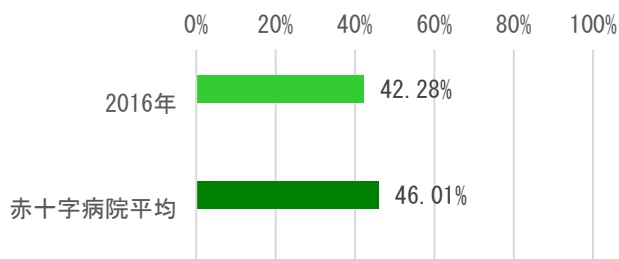


	実施率	分子	分母
2016年	92.19%	59	64
赤十字病院平均	73.75%		

※赤十字病院平均は 2016 年の値

17. 心不全で入院中の ACE あるいは ARB の処方率 【新設】

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、ACE あるいは ARB を処方された患者数}}{\text{うっ血性心不全の入院患者数}}$

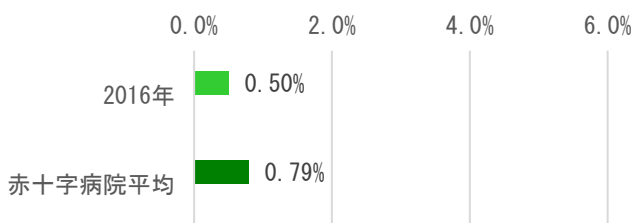


	処方率	分子	分母
2016年	42.28%	104	246
赤十字病院平均	46.01%		

※赤十字病院平均は 2016 年の値

18. 待機的に PCI を実施した患者の入院中脳梗塞発生率 【新設】

算出方法: $\frac{\text{分母のうち、入院後に脳梗塞を発症した患者数}}{\text{待機的に PCI 手術を実施した入院患者数}}$



	発生率	分子	分母
2016年	0.50%	1	202
赤十字病院平均	0.79%		

※赤十字病院平均は 2016 年の値